

# 下関市斎場個別施設計画

令和4年3月  
(令和6年9月改訂)

下関市

## — 目 次 —

1	計画の目的と位置づけ	1
2	対象施設	1
3	計画期間	4
4	対策の優先順位の考え方	4
5	個別施設の状態等	4
6	対策内容と実施時期	10
7	対策費用	14
8	今後について	15

## 1 計画の目的と位置づけ

下関市では、国の「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月関係省庁連絡会議決定）に基づき、平成27年3月に「下関市公共施設マネジメント基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定しています。さらに、既存の施設の老朽化と今後の人口減少による利用需要の変化、厳しい財政見通し等から「次の世代に負担をかけない安心・安全な施設を引き継ぐ」ことを基本理念に、今後20年間で施設面積の3割を削減することを目標とし、適正配置を目指した「下関市公共施設等総合管理計画」（以下「管理計画」という。）が平成28年2月に策定されました。

本計画は、上記の基本方針及び管理計画の下位計画であり、本市が管理する市営斎場（火葬場）（以下「斎場」という。）について、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める「個別施設計画」として策定するものです。

## 2 対象施設

対象施設は、大谷斎場、豊田斎場、豊浦斎場、豊北斎場と離島にある蓋井島火葬場及び六連島火葬場の6施設です。

施設概要及び位置図は、次のとおりです。

（各斎場の施設概要）

施設名	大谷斎場	豊田斎場	豊浦斎場	豊北斎場
所在地	藤ヶ谷町4-1	豊田町大字八道宇大騒動10314番地3	豊浦町大字小串宇外無田10117番地1	豊北町大字滝部宇石峠2241-1
敷地面積（㎡）	35,146.90㎡	6,819.28㎡	10,281.00㎡	7,036.57㎡
延床面積（㎡）	3,264.72㎡	116.71㎡	498.57㎡	494.43㎡
供用開始時期	平成3年7月	昭和43年	昭和59年5月	平成8年6月
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上2階	主体・外壁：補強コン クリートブロック造、 屋根：陸屋根 地上1階	鉄筋コンクリート造 地上1階	鉄筋コンクリート造 地上1階（一部2階）
駐車場	51台	20台	20台	22台
休場日	元日、毎月第1,3友引日	元日、毎月第1,3友引日	元日、毎月第2,4友引日	元日、毎月第1,3友引日
火葬炉数	火葬炉 12炉 胞衣炉 1炉 予備炉 1炉	火葬炉 1炉（※）	火葬炉 2炉 胞衣炉 1炉	火葬炉 2炉
霊安室	1室	—	—	—
待合室	4室	1室	2室	2室
1日最大火葬件数	24体 （実際は18体で運用）	2体	4体	4体
運営方法	直営（一部委託を含む）	直営（一部委託を含む）	直営（一部委託を含む）	直営（一部委託を含む）

※豊田斎場は、平成24年7月に火葬炉更新

\* 離島

施設名	蓋井島火葬場	六連島火葬場
所在地	大字蓋井島字川の上26番地	大字六連島字台273番地2
敷地面積 (㎡)	681.00㎡	488.74㎡
延床面積 (㎡)	60.00㎡	48.00㎡
供用開始時期	平成8年4月	平成12年4月
建物構造	主体・軽量鉄骨造 屋根・亜鉛メッキ鋼板葺	型枠コンクリートブロッ ク造 一部 鉄骨造
駐車場	数台	—
休場日	元日、毎月第1,3友引日	元日、毎月第1,3友引日
火葬炉数	火葬炉1炉	火葬炉1炉
霊安室	—	—
待合室	—	—
1日最大火葬件数	2体	2体
運営方法	直営 (一部委託を含む)	直営 (一部委託を含む)

大谷斎場	豊田斎場
	
豊浦斎場	豊北斎場
	

(施設位置図)



### 3 計画期間

計画期間は、管理計画の計画期間が令和16年度（2034年度）までとなっていることから令和16年度までとします。なお、社会情勢等によって公共施設等を取り巻く環境は変化していくため、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

### 4 対策の優先順位の考え方

各施設のマネジメントの指針とするため、平成30年12月に策定された「公共施設の適正配置に関する方向性」において、施設については「可能な限り施設機能を維持」し、「築年数が50年を超える建物は原則として廃止」する考え方が示されているため、本計画において、施設ごとに使用目標年数を定め、長寿命化を図る施設から優先順位を決定し、定期的な改修等を行います。

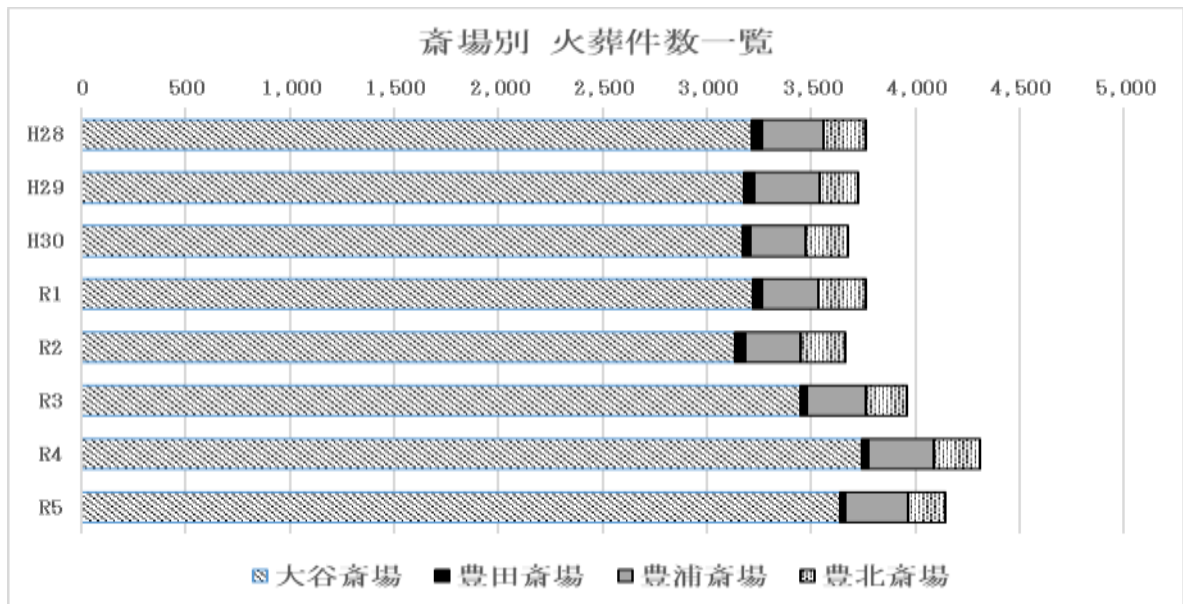
### 5 個別施設の状態等

下関市の斎場については、昭和33年8月に完成し、平成3年7月1日、老朽化に伴い同じ場所に改築した「下関市大谷斎場」と、離島にはそれぞれ「蓋井島火葬場」及び「六連島火葬場」を設置し火葬業務を行って来ました。また、平成17年2月の市町村合併により、「豊田斎場」「豊浦斎場」「豊北斎場」が本市の管理となり、現在は、この6斎場で火葬業務を行っています。

各施設とも老朽化が進んでいますが、火葬炉の積替工事や設備の改修を実施することにより、年間約3,800件の火葬業務を行っています。

斎場別 火葬件数一覧

年度	施設名				合計
	大谷斎場	豊田斎場	豊浦斎場	豊北斎場	
H28	3,214	52	292	205	3,763
H29	3,176	51	314	185	3,726
H30	3,174	37	259	208	3,678
R1	3,223	42	270	228	3,763
R2	3,135	48	266	213	3,662
R3	3,448	31	281	196	3,956
R4	3,743	31	314	223	4,311
R5	3,636	26	301	180	4,143
合計	26,749	318	2,297	1,638	31,002
平均	3,344	40	287	205	3,875
割合	86.3%	1.1%	7.4%	5.3%	



斎場別 開場日数

年度	施設名			
	大谷斎場	豊田斎場	豊浦斎場	豊北斎場
H28	340	52	194	168
H29	340	51	206	153
H30	340	37	181	169
R1	341	42	192	170
R2	340	48	180	170
R3	340	31	196	158
R4	340	31	204	180
R5	341	26	211	146

斎場別 1日あたりの平均火葬件数

年度	施設名			
	大谷斎場	豊田斎場	豊浦斎場	豊北斎場
H28	9.45	1.00	1.51	1.22
H29	9.34	1.00	1.52	1.21
H30	9.34	1.00	1.43	1.23
R1	9.45	1.00	1.41	1.34
R2	9.22	1.00	1.48	1.25
R3	10.14	1.00	1.43	1.24
R4	11.01	1.00	1.54	1.24
R5	10.66	1.00	1.43	1.23



待合室の使用状況

(単位：回)

年度	施設名			
	大谷斎場 (有料4室)	豊田斎場 (無料1室)	豊浦斎場 (無料2室)	豊北斎場 (無料2室)
平成28年度	1,054	52	292	205
平成29年度	937	51	314	185
平成30年度	892	37	259	208
令和元年度	830	42	270	228
令和2年度	763	48	266	213
令和3年度	1,108	31	281	196
令和4年度	1,315	31	314	223
令和5年度	1,298	28	303	178

斎場維持管理経費

(単位：千円)

施設名	項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大谷斎場	火葬件数	3,214	3,176	3,174	3,223	3,135	3,448	3,743	3,636
	歳入	26,293	24,729	33,272	33,378	44,427	54,729	64,128	61,664
	歳出	99,618	120,521	108,830	110,880	108,812	109,866	133,512	166,029
豊田斎場	火葬件数	52	51	37	42	48	31	31	26
	歳入	308	304	335	380	686	428	402	406
	歳出	800	867	753	788	2,632	1,825	1,525	1,884
豊浦斎場	火葬件数	292	314	259	270	266	281	314	301
	歳入	1,830	1,931	2,279	3,416	3,158	3,962	5,619	5,518
	歳出	11,449	7,240	8,596	9,509	9,965	13,007	13,474	16,646
豊北斎場	火葬件数	205	185	208	228	213	196	223	180
	歳入	1,268	1,196	1,908	2,079	3,107	2,665	3,134	2,655
	歳出	9,928	8,953	11,341	11,704	10,709	11,123	12,384	11,113
蓋井島火葬場	火葬件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳入	2	2	2	2	2	2	2	2
	歳出	307	20	128	20	130	20	132	24
六連島火葬場	火葬件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳入	0	0	0	0	0	0	0	0
	歳出	123	15	123	15	125	15	127	19
合計	火葬件数	3,763	3,726	3,678	3,763	3,662	3,956	4,311	4,143
	歳入	29,701	28,162	37,796	39,255	51,380	61,786	73,285	70,245
	歳出	122,225	137,616	129,771	132,916	132,373	135,856	161,154	195,715



斎場の改修（工事・修繕）費用

（単位：千円）

項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
火葬炉本体（耐火レンガ積替等）	12,312	24,516	21,708	21,786	23,650	16,940	21,403	43,753	186,068
火葬炉設備（制御機器等）	1,170	75	140	682	3,582	6,055	10,401	2,590	24,693
火葬用備品（柩運搬台車等）	0	172	167	0	110	115	0	29	593
自動ドア	1,457	2,499	1,404	1,430	1,100	0	715	438	9,043
エレベーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物（屋根・床・建具等）	798	387	0	604	268	179	64	484	2,782
空調設備	4,698	9,249	3,240	3,186	1,971	1,538	4,202	40,638	68,723
消防設備	49	15	271	15	20	1,722	0	0	2,091
給水管等	0	0	50	243	0	0	385	56	734
トイレ設備	189	136	0	45	238	174	0	308	1,090
給湯器（ボイラー）	16	0	0	154	0	0	0	330	500
貯水槽	0	0	14	73	370	0	0	0	458
浄化槽	199	166	266	1,815	0	0	219	0	2,666
電気設備	918	0	771	409	0	558	0	0	2,656
照明設備	45	0	352	40	264	30	136	40,208	41,075
情報通信設備	122	54	517	0	495	495	0	132	1,815
外構工事	0	0	0	0	385	0	0	0	385
庁用備品	0	0	0	3	0	0	0	0	3
庁用車	138	26	2	66	0	83	18	62	395
その他	0	16	0	0	0	0	0	433	450
計	22,110	37,311	28,903	30,553	32,452	27,888	37,542	129,460	346,220

各施設の主な改修履歴(100万円以上)

年度	大谷斎場	豊田斎場	豊浦斎場	豊北斎場
H28	火葬炉改修工事 冷暖房機修繕 自動ドア装置取替修繕			
H29	火葬炉改修（積替）工事 空調機基盤等修繕 自動ドア装置取替修繕			
H30	火葬炉改修（積替）工事 空調ローカル機器・プリント基盤等修繕 自動ドア装置取替修繕			火葬炉改修工事
R1	火葬炉改修（積替）工事 空調ローカル機器等修繕 自動ドア装置取替修繕 浄化槽整備工事			
R2	火葬炉改修（積替）工事 空調ローカル機器付随部品修繕等 自動ドア装置取替修繕	火葬炉制御機器等取替修繕		火葬炉断熱扉セラミックブロック貼替
R3	火葬炉改修（積替）工事 空調ローカル機器等修繕 移動式ハロン消火設備ボンベ取替修繕		1号炉内耐火物部分補修及び1・2号炉 制御盤温度調節計取替修繕	1号炉制御機器取替業務
R4	火葬炉改修（積替） 火葬炉設備改修 空調排気ファン更新修繕		2号炉炉内耐火物部分補修	1, 2号炉主燃炉炉内セラミック貼替 1号炉再燃炉炉内セラミック貼替
R5	火葬炉改修（積替） 照明設備LED化工事 空調設備改修工事		1号炉炉内台車耐火物張替 1号炉排気ダクト等取替	2号炉制御機器取替

(1) 大谷斎場

大谷斎場は、平成3年度設置で、設置後32年を経過しています。火葬件数は4斎場の中で最も多く、85%以上をカバーしています。火葬炉の運転については、業者へ委託して安定した火葬を実施しています。

施設については、平成29年度より2回目の火葬炉改修（耐火レンガの全面積替等）を実施しているほか、随時、火葬炉設備（燃焼機器、通風設備、集塵機、制御機器等）の改修を行っています。また、建物全体としては、経年劣化による空調設備・エレベータ・照明設備の不具合や雨漏りが発生しており、一

部でバリアフリー化が進んでいない箇所があることや、洋式トイレの設置数が少ないことにより、高齢者や障害者に限らず、会葬者にとって不便な構造となっています。空調設備については、既存設備の劣化が限界に近づいているため、令和5年度より空調機本体の更新を含む大規模な改修を行っています。また、照明設備は維持管理に係る費用対効果等からLED化を進めています。エレベータについては、平成12年に設置され、耐用年数を迎えるため更新が必要です。火葬炉及び火葬炉設備は、今後も計画的な改修を継続し、火葬能力を維持する必要があります。

## (2) 豊田斎場

豊田斎場は、昭和43年度設置で、設置後55年を経過しています。建物は耐用年数を過ぎていますが、火葬炉については、平成23年度に更新し、現状不具合は生じていません。他の斎場と違い火葬の際には大谷斎場から職員が出向いています。今後、適正な管理を実施しながら、集約化を検討する必要があります。

## (3) 豊浦斎場

豊浦斎場は、昭和59年度設置で、設置後39年を経過しています。4斎場の中で火葬炉が最も古いため、不具合が多く、また、火葬炉部品が一部生産終了していることもあり、今後の老朽化の進み具合によっては安全に火葬業務を行うことが難しくなることも予測されます。

また、建物耐用年数を50年とした場合、令和16年(2034年)に耐用年数を迎えることになるため、市の財政状況や火葬件数の推移を勘案しながら、適切な維持管理を継続し、今後、集約化を検討する必要があります。

## (4) 豊北斎場

豊北斎場は、平成8年度設置で、設置後27年を経過しています。4斎場の中では最も新しい斎場で、軽微な設備故障は出ておりますが、計画的に火葬炉やその他の設備の改修を行い、安定した火葬を供給しています。

火葬炉の本体寿命は、構造上、毎年保守点検や火葬炉周辺設備の改修を行っている条件で、20年～30年であり、火葬炉の更新(新型炉への入替)が必要となります。その他は、照明設備のLED化、非常用発電装置や給排水設備、空調設備の改修が必要です。

(5) 離島火葬場

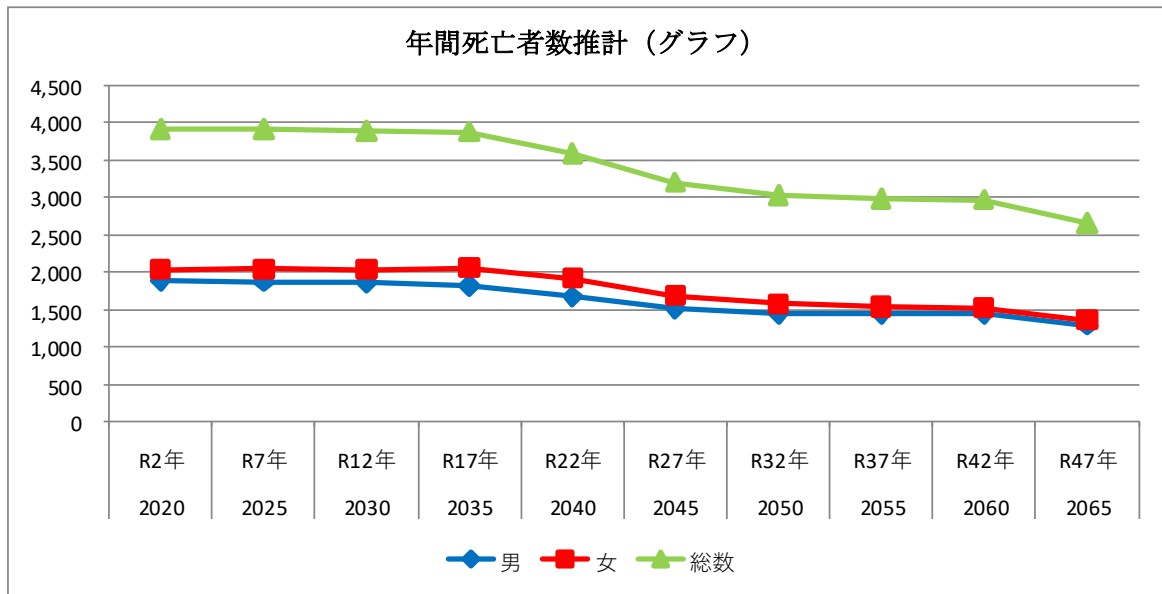
蓋井島火葬場及び六連島火葬場については、火葬件数は少ないですが、定期的に点検等を行っており、現状で使用に不具合は生じていません。

本市の現在の人口と年間の死亡者推計等から考えた場合、令和2年（2020年）から令和17年（2035年）の間が最も死亡者数が多くなる時期と推察され、年間死亡者数推計（統括表・グラフ）に示すとおり、年間約3,900件が見込まれます。

年間死亡者数推計（統括表）

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年	R32年	R37年	R42年	R47年
男	1,877	1,869	1,854	1,815	1,669	1,512	1,450	1,440	1,436	1,295
女	2,034	2,042	2,037	2,060	1,921	1,687	1,579	1,543	1,527	1,363
総数	3,911	3,911	3,891	3,875	3,590	3,199	3,029	2,983	2,963	2,658

\*国立社会保障・人口問題研究所の下関市の人口推計及び下関市人口ビジョンの人口推計から死亡者数推計について整理しています。なお、死亡者数は5年間の平均値としています。



## 6 対策内容と実施時期

各斎場は、今後、使用年数の経過とともに建物の老朽化や火葬炉及びその他の設備に不具合が生じることが予測されます。

斎場は、市民にとって必要不可欠な施設であり、安全で安定した火葬業務を継続することが求められることから、各斎場を適切に管理するため、市の財政状況や今後の火葬需要を考慮しつつ、日常点検、定期点検、改修工事等を適切に実施し、将来の人口動態を見据えた運営方針について検討を行う必要があります。

具体的には次のとおりです。

- (1) 大谷斎場は、鉄筋コンクリート造の建物で、建物の使用年数の指標となる法定耐用年数については、鉄筋コンクリート造は50年となっていますが、適正に維持管理を実施している場合、法定耐用年数を超えて使用することが一般的であり、鉄筋コンクリート造（普通品質）の目標耐用年数は50～80年とされています。（一社日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考）

大谷斎場は、これまで適宜施設の改修等を行い維持管理していることから、使用目標年数を60年とし、火葬炉及びその他の設備などの定期的な点検、改修を実施し、長寿命化を図ります。

長寿命化を図るため、主に次のような対策を行います。

### ① 火葬炉改修（耐火レンガの積替等）

大谷斎場の火葬炉は、構造上、改修を実施することにより使用目標年数までの使用が可能となることから、耐火レンガの全面積替後10年経過、または、2,500体の火葬の実施を基準として、2回目の全面積替を令和6年度まで実施し、令和7年度、令和8年度は火葬炉耐火物の部分改修、令和9年度からは3回目の全面積替を行います。

### ② 火葬炉設備改修

火葬炉設備（燃焼機器、通風設備、集塵機、制御機器等）については、各設備の耐用年数に応じて改修を行います。

### ③ 空調設備改修

空調設備は、老朽化が激しく空調機本体の更新が必要なため、大規模な改修を行います。

### ④ エレベータ更新

エレベータは耐用年数を迎えるため、更新を実施します。

### ⑤ 照明設備改修

既存の照明設備が老朽化していることや、改修により省エネルギー化が見

込めることから、LED化に取り組みます。

⑥ 建物改修（屋根・床等）

平成18年度、平成21年度に一部の屋根改修を実施していますが、経年劣化による雨漏りが発生しているため、劣化状況に応じて屋根改修を実施します。待合棟の床は前回の改修後20年経過する令和15年度、令和16年度を目途に改修を行います。

(2) 豊田斎場については、建物の耐用年数が到来しています。しかし、火葬炉設備は新しいため、今後も適切に維持管理を継続し、他斎場の状況を踏まえ、集約化に向けた準備を進めていきます。

(3) 豊浦斎場については、火葬炉の不具合が多いため、定期的な火葬炉改修及び適切な維持管理を継続します。ただし、今後、老朽化が更に進行すれば、安全な火葬業務の遂行が難しくなることが予測されるため、他斎場の状況を踏まえ、集約化に向けた準備を進めていきます。

(4) 豊北斎場については、安定した火葬を継続するため、主な対策として、次の内容を実施します。

火葬炉は、耐用年数の到来に合わせて令和8年度、令和9年度に更新を行います。照明設備は省エネルギー対策としてLED化に取り組みます。非常用発電装置、給排水設備、空調設備については、耐用年数や劣化状況から適切な時期に改修を行い、建物については、劣化状況に応じて屋根改修等を実施します。

(5) 蓋井島火葬場及び六連島火葬場については、離島という特殊な設置条件であるだけでなく、他の斎場と比べて築年数も短く、また、火葬件数が少ないため、引き続き維持管理を行っていくとともに、島民のニーズに応じた対応に努めていきます。

以上を踏まえて、今後の方向性や対策内容を取りまとめると、次表のとおりとなります。

各斎場の使用目標年数・方向性

施設名	建築年	使用 目標 年数	スケジュール													
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
			2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
大谷斎場	H3	60	経過年													
			30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
			長寿命化													
豊田斎場	S43	50	経過年													
			53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
			集約化の検討					検討結果に沿った運用								
豊浦斎場	S59	50	経過年													
			37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
			集約化の検討					検討結果に沿った運用								
豊北斎場	H8	50	経過年													
			25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
			存続													
蓋井島火葬場	H8	-	経過年													
			25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
			存続													
六連島火葬場	H12	-	経過年													
			21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
			存続													

改修等スケジュール（予定）

施設名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	
大谷斎場	火葬炉積替（2回目）・耐火物改修				火葬炉耐火物改修		火葬炉積替（3回目）・耐火物改修								
	火葬炉設備改修														
	空調設備改修・点検														
	消防設備改修・点検														
	給排水設備改修（トイレ・揚水ポンプ・給湯器）									給排水設備改修（貯水槽）			給排水設備改修（給湯器）		
	非常用発電機点検・整備														
	自動ドア改修											自動ドア改修			
	エレベータ更新														
	照明設備改修（LED化）				電源設備改修										
	建物改修（床）				建物改修（屋根・外壁）									建物改修（床）	
	待合室改修（障子）				待合室改修（内装）										
	情報通信設備改修（電話設備）								情報通信設備改修（監視カメラ・モニター等）						
火葬用備品改修						火葬用備品改修				火葬用備品改修					
						備品更新（待合ロゼーションファ）									
豊田斎場	火葬炉改修					火葬炉改修				火葬炉改修					
	火葬炉設備改修									火葬炉設備改修					
	空調設備改修														
豊浦斎場	火葬炉改修					火葬炉改修									
	火葬炉設備改修		火葬炉設備改修				火葬炉設備改修								
	空調設備改修					空調設備改修									
	照明設備改修														
	待合室改修（畳）														
						火葬用備品更新				火葬用備品更新					
豊北斎場	火葬炉改修		火葬炉改修		火葬炉更新			火葬炉改修			火葬炉改修				
	火葬炉設備改修		火葬炉設備改修				建物改修（屋根）				火葬炉設備改修				
	空調設備改修		空調設備改修							空調設備改修			空調設備改修		
	給排水設備改修（浄水器・井戸ポンプ・トイレ）											給排水設備改修（浄化槽）			
	非常用発電機改修					非常用発電機改修		非常用発電機改修							
						照明設備改修（LED化）									
						待合室改修（畳）									
									外構工事（駐車場ライン）						
									火葬用備品更新						



## 7 対策費用

各斎場の対策費用

(単位:千円)

施設名	内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	対策費用	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度		
大谷斎場	火葬炉積替・耐火物改修	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	225,844	
	火葬炉設備改修	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	407,218	
	空調設備改修・点検	●	●	●	●	●	●	●					●			148,802	
	消防設備改修・点検	●														1,722	
	給排水設備改修（トイレ、揚水ポンプ、貯水槽、給湯器）	●	●	●	●	●						●			●	10,910	
	非常用発電機点検・整備	●														1,150	
	自動ドア改修		●	●	●									●	●	●	4,442
	エレベータ更新				●												16,700
	電気設備改修（照明LED化、電源設備改修等）			●	●		●										49,509
	建物改修（屋根、床）			●		●									●	●	65,639
	待合室改修（内装）			●		●	●	●	●	●							2,605
	情報通信設備改修（電話設備、監視カメラ、モニター等）	●		●						●							1,561
	火葬用備品	●						●					●				356
施設備品（待合ソファ）									●	●						3,000	
対策費用（小計）		22,817	31,185	120,806	61,315	110,318	35,904	52,926	136,205	119,970	25,740	92,296	76,258	38,019	15,699	939,458	
豊田斎場	火葬炉改修	●					●						●			3,378	
	火葬炉設備改修		●	●	●							●				3,757	
	空調設備改修				●											245	
	対策費用（小計）	864	501	968	773	0	1,650	0	0	0	0	1,760	864	0	0	7,380	
豊浦斎場	火葬炉改修	●	●	●	●			●	●							26,985	
	火葬炉設備改修	●		●	●	●				●	●					11,799	
	空調設備改修			●	●	●		●								1,492	
	照明設備改修（LED化）		●													89	
	待合室改修（畳）			●												234	
	火葬用備品							●					●			150	
	対策費用（小計）	3,234	2,839	5,680	6,616	6,650	0	7,050	6,600	990	990	0	100	0	0	40,749	
豊北斎場	火葬炉改修		●		●		●	●				●	●		●	163,251	
	火葬炉設備改修	●		●	●							●	●	●	●	12,109	
	建物改修（屋根）							●								7,371	
	空調設備改修・点検		●		●	●						●			●	8,677	
	給排水設備改修（トイレ、浄水器、井戸ポンプ、浄化槽）					●									●	22,427	
	非常用発電装置改修	●					●			●						13,978	
	照明設備改修（LED化）						●									3,954	
	待合室改修（畳）							●								218	
	外構工事（駐車場ライン）											●				270	
	火葬用備品											●				70	
対策費用（小計）	1,758	2,736	1,575	6,649	20,724	83,439	86,074	0	12,650	2,100	2,794	1,766	2,646	7,414	232,325		
対策費用（合計）	28,673	37,261	129,029	75,353	137,692	120,993	146,050	142,805	133,610	28,830	96,850	78,988	40,665	23,113	1,219,912		

\*上記には人件費・光熱水費・委託料等の維持管理経費を含みません。  
\*蓋井島火葬場・六連島火葬場については、定期的に点検等を行います。

## 8 今後について

斎場は、市民にとって必要不可欠な施設であり、安全で安定した火葬業務を継続することが求められます。

今後は本計画に従い、日常点検、定期点検、改修等を実施し、各斎場の適切な管理運営に努めていきます。

将来的には斎場の老朽化及び、減少が見込まれる火葬件数の動向を見据えて長期的な視点から集約化を検討し、市民の意見に配慮しながら令和7年度を目途に具体的方針を定め、本計画を改訂することとします。